がんばろう
南三陸町
復興第19号

南三陸マイタウン情報 月刊

発行所
マイタウン企画
本吉郡南三陸町志津川字沼田 150-84
TEL（46）3069
後援：
志津川広報センター

払川ダム竣工式

５月18日(土)午後１時より、歌津払川地区で「払川ダム竣工式」が開催され、村井知事・元県復興庁の郡和子衆議院議員や地権者、国・県の議員や旧歌津町議会・南三陸町議会、関係者が参加し完成を祝った。

テープカット

竣工式の式典では、村井知事が「自然災害のリスクが高まっている。水道用水の確保を目的とし、平成４年４月から始まった。23年に一時休工となったが、仙台・宮城DC開催の時期に竣工となった」と式辞を述べた。

佐藤町長は、昭和52年の台風による大水害、56年の11月の降雨量280mmでは48世帯が浸水した。「住民と生命と財産を守り」自然との共生を目指した、水道水と乾害用水として、観光資源の利活用をと語った。

田東湖

払川ダム竣工のテープカットに引き続き、田東湖が望める場所に設置された記念碑幕と、ダム湖畔からやまめの記念放流がなされた。

出席者は豪雨による歌津地区の災害の歴史を語り、利水・治水の対策として数十年にもなる構想が、今ここに防災ダムとして造られた。地権者の協力・理解、そして地域・契約会の支援により、「払川ダム」が完成したと、参加された皆さんが口々に話していた。ダムにより堰き止められた湖は「田東湖」として、歌津地区の称名選定委員会で決定され、記念碑に刻まれ、除幕には関係者と子供たちも参加し行われた。歌津地区の子供たちには町の将来に向け、素晴らしい場所を継承し守ってもらいたい。

その後、歌津福幸商店街で「祝賀会」が開催された。田東山の伏流水が海に流れ込み、多くのミネラル養分となり、その養分を吸収した「しろうお」が伊里前川に遡上する。その「しろうお汁」が祝賀会で振る舞われた。

記念碑除幕

名称選定委員により決定した田東湖

南三陸町の「観光立町」を目指す中で、田東山のつつじ・払川ダム・田東湖が、歌津地区の新たな観光の拠点として、今後環境整備が町によって図られていく。

地権者に感謝

海への鎮魂と共生する南三陸町

３月７日に南三陸町細浦の徳性寺で、曹洞宗の尼僧団50名余りが、「東日本大震災」で亡くなられた方々の、「三回忌」にあたり祈りをささげた。

曹洞宗の研修の一環として作成した100体の「お地蔵様」を被災し身内が逝去され、法要に参加した皆さんに手渡された。「紙塔婆」に名前を書き海に流し、尼僧団全員で鎮魂の祈りを捧げた。多くの人々が供養会に参列し、悲しみを新たに海に向かい手を合わせた。紙塔婆をいまだ不明の方々の元へと流した。

今回の細浦の徳性寺で曹洞宗の尼僧の皆さんによる三回忌法要は、100歳にもなる尼僧の方もおり、寺が被災し仮設本堂の高台までの道が大変だったという。普通とは違う状況の被災地の姿に、生活の大変さを痛感していた。

撮影させてもらった写真に、子供を抱き護岸いっぱいに近寄り、手を合わせる親子の姿に、被災での苦悩は知り得ないが、その背中から多くの悲しみを感じた。

津波は憎いが海からの恵みで栄えた細浦地区があり、南三陸町は海とは切っても切れなく、海との共生がある。「海を見るのが怖い」と言う方も多く、今回の津波による多くの死者と不明があっても、被災後も海の再生による生活がある。複雑な気持ちでこの光景を見る。

田中前さん復活

志津川仮設商店街の中に「田中前」さんが開店し、名物「お好み焼き」が復活した。自慢の奥さんが焼く「お好み焼き」を食べに来てもらいたい。その他にも大判焼きや各種丼物も850円から食べられる。写真は「アワビ」1個を盛り合わせた、田中前さんの「特撰三陸あわび丼」で、三陸産のメカブ・イクラや多くの海鮮が山盛りです。是非一度ご来店してご賞味して下さい。

支援への感謝 浜の屋さんオープン

現在、遺跡がある志津川中央区の高台移転予定地区の新井田に、ラーメン店の「浜の屋」さんがある。「復興ふくろう」の作成をする傍ら、南三陸産の海産物を使った、「南三陸復興塩そば」を販売提供している。志津川産の「ブランド銀鮭」の炙りと、三陸産ワカメとメカブがラーメンに載っている。

今年３月11日からオープンし、多くの復旧工事の労働者に好評で喜ばれている。一度ご賞味して見て下さい。

2013 南三陸さくら風景

東山公園は今年満開に

◀西宮神社春季大祭

ホテル観洋の一本桜

南三陸町で最初に見つけた桜の蕾は、黒崎に突き出るホテルの来町者を迎える「一本桜」で、この時期の「桜事情」を感じる。4月20日の通勤時に、交通の少ない時にカーブの窪みに車を止め撮影した。週末には「桜吹雪」になりそうだ。

（感謝と元気を）

戸倉荒町入口ひと休み

戸倉荒町に「ひと休み」さんがある。被災地での復興に携わるトラック運転手さんや、営業で訪れたサラリーマンが、昼食を取れる場所として重宝されている。看板には「がんばっぺ戸倉！ひと休み」とある。脇の駐車場にある桜が今年も満開となり心を和ませてくれる。

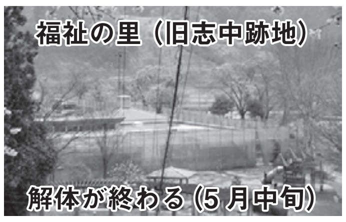
震災後はここも瓦礫でいっぱいとなったが、ひと休みさんは何とか残った建物を再建し、今も戸倉を訪れる皆さんの「お食事処」として頑張っている。

（今年も新入生を迎えた）

志高登校坂

4月にはめずらしい大雪の中、志高の登校坂に桜を見に行った。

普段は「用事の無い方入門禁止」ながら、現在は校庭に被災者の仮設が80戸余り建ち、住民の車が日限り無し往来している。志高からは今年も多くの優秀な人材を社会に送りだしている。



福祉の里（旧志中跡地）
解体が終わる（5月中旬）

福祉の里は建物が解体中となっていた。（4月中旬）

この日の季節外れの雪にもまけず、桜は枝いっぱいに花を咲かせていた。

高台の志津川高校の桜越しに志津川市街地を望む

2年と1か月が過ぎ、震災がれきは取り除かれたが、志津川市街地は広大な空き地が広がり、今年度から土地の嵩上げが始まる。

未来への教訓

大津波の記憶を風化させない

平成25年（2013年）
～ 地元報道より ～

2月の出来事

◆NTT ドコモと契約締結

南三陸町は2月1日、NTT ドコモと森林保全に関する基本契約書を結んだ。町有林の CO2 吸収量クレジットを町が NTT に販売し、それを資金に森林整備を実施。NTT 側もこの森林から出た間伐材で商品を作製、販売するなどして町の森林保全活動を支援する。

◆コアラ館供用開始

南三陸町のベイサイドアリーナ隣に建設されたオーストラリア友好学習館（コアラ館）が2月1日、オープンした。この日は、あさひ幼稚園の園児が招待され、コアラ館にある窯で焼いたピザが振る舞われたほか、豪州の食肉団体から贈られた牛のマスコットがプレゼントされた。

◆南三陸町で綱引き大会

南三陸町ジュニア綱引き大会が2月3日、ベイサイドアリーナで開かれた。小学4～6年生で編成された男女混合チームを対象に毎年開かれており、今年は8回目となる。参加した町内の小学生たちが、応援に駆け付けた多くの保護者からの声援を受けながら熱戦を繰り広げた。結果は以下の通り。

①入谷ドリームファイターズ②NTR ドルフィンズ（名足小）③志小 ARAKIS ファイターズ◇敢闘賞 - 戸倉 GT5　入小シャーク10

◆住宅跡地の買い取り始まる

南三陸町で2月5日から被災した住宅用地の売買契約会がはじまった。この日、町役場で開かれた契約会には、買い取りを希望する町民らが訪れ、契約書にサインするなどした。初日に契約を済ませたのは4件で、土地の所有権が町に移った段階で代金が振り込まれる。

◆観光看板 中学生がデザイン

南三陸町は町境に設置していた観光看板を、復興支援への感謝や復興への意気込みなどを伝える内容へとリニューアルさせた。

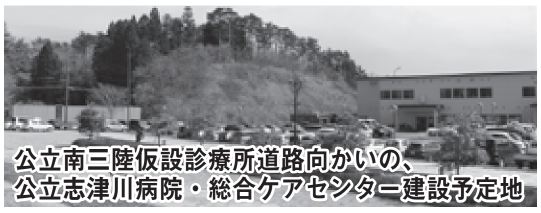
デザインは、設置された3カ所の地元中学校の3年生が担当し、タコやツツジ、虹などの図柄が描かれているほか、「復興へ全力で頑張る」「新しい町で会いましょう」「たくさんのご支援どうもありがとう」などのメッセージも掲載している。

◆介護保険料値上げへ

南三陸町で65歳以上の介護保険料が新年度から値上げせざるを得ない状況になっている。介護サービス利用の増加に伴う給付費の伸びが主な要因で、試算では1.5倍の値上げになる見込み。町では負担軽減策を検討しており、なるべく上げ幅を抑えたいとしている。

◆透析部門設置して

南三陸町の人口透析患者が、今後再建される公立志津川病院への透析部門設置を求めている。町外の病院に通院している透析患者の中には片道1～2時間かかる人もおり、体への大きな負担となっている。2月12日には町、町議会に対して1022人分の署名とともに、新病院に透析部門の設置を求める陳情書を提出した。


公立南三陸仮設診療所道路向かいの、公立志津川病院・総合ケアセンター建設予定地

◆透析設計に盛り込む

南三陸町議会の東日本大震災対策特別委員会が2月15日、町役場で開かれ、病院建設基本計画の素案などについて質疑を交わした。

この中で佐藤仁町長は人工透析のスペースを今後行われる設計に盛り込む考えを示した。ただ、今のところ医師確保の見込みはなく、新病院で透析治療が行われるかは不透明な状況となっている。

◆人手確保 厳しい現実

南三陸合同企業説明会が2月17日、南三陸プラザで開かれ、町内に再建した39の企業、事業所が参加し事業概要などの説明に当たった。

会場では各企業、事業所がブースを設けて個別面談を実施したが、訪れた求職者はわずか28人。人材確保が難しい状況をうかがわせた。説明会は今後も断続的な開催を検討していくという。

◆チリ島からモアイ像

震災前、志津川の松原公園には、チリから友好の証しとして贈られた高さ約3㍍のモアイ像があった。しかし、震災の津波で倒壊し、現在は頭部のみが志津川高校に設置されている。

昨年3月末に来町したチリのピニェラ大統領が新しいモアイ像寄贈の申し入れがあり、モアイプロジェクト実行委員会によって準備が進められていた。モアイ像は今年1月に横浜港に到着。3月に東京、5月に大阪で展示された後、南三陸町に到着する。

町内学校教員転入

≪小学校≫◆教頭【転任】名足（面瀬）熊谷俊一【新任】戸倉（石巻市教委社協主事）坂本忠厚
◆主幹教諭【新任】名足（落合教諭）小野寺夏江
◆教諭【転任】▷志津川（大谷）前田直子　（入谷）高橋菜穂子　（石巻）須藤雄一郎　▷戸倉（小泉）山内弘一　（相川）武山知子　▷入谷（志津川）須藤りか　伊里前（面瀬）加藤まゆみ　▷名足（小泉）齊藤洋子　（戸倉）及川恵子
【新任】志津川　千葉なお美
◆養護教諭【転任】入谷（東和中）首藤由紀子

≪中学校≫◆校長【退職】菅原貞芳（志津川）小野寺文晃（歌津）＝登米市教委へ＝
【転任】志津川（志津川自然の家所長）佐藤正幸
【新任】歌津（多賀城市教委）中鉢裕
◆主幹教諭【新任】志津川（志津川教諭）小野英昭　歌津（〃）及川敦
◆教諭【転任】▷志津川（歌津）佐藤公治　（南方）小野寺紀彦　（津谷）柏康弘　（気仙沼）神谷卓也　（〃）後藤祥　▷戸倉（歌津）山内洋子　（蛇田）菅井俊明　▷歌津（鹿折）齋藤智
【新任】▷志津川　石井明子　小野寺麻由　▷戸倉　那須真也　▷歌津　安倍啓太

≪高校≫◆校長【転任】志津川（教育研修センター次長・班長）佐藤充幸
◆教諭【転任】志津川（石巻工）照井淳　（仙台商）根本博【新任】志津川　菅原暁子
◆養護教諭【転任】志津川（気仙沼）阿部富子

◆2カ所目造成着手

南三陸町歌津北の沢地内で、2月20日から災害公営住宅の造成工事が始まった。14戸ずつの集合住宅2棟と、木造一戸建て5戸が計画されており、集会所や広場なども設けられる。

この日は現場で安全祈願祭が行われ、関係者が玉ぐしをささげ、くわ入れなどを行い工事の安全と一日も早い完成を願った。

◆震災文集 体験、支援感謝つづる

南三陸町のすばらしい歌津をつくる協議会が、東日本大震災の作文集「未来への遺言」を発刊した。児童・生徒、地区民らが震災の体験談やまちづくりへの思いなどをつづっている。

◆防集造成工事始まる

南三陸町戸倉藤浜地内で2月26日、防災集団移転促進事業（防集）の造営工事が始まった。年内に造成が終り、来年1月からは住宅が建設可能になる予定だ。この日は着工式が行われ、関係者によるくわ入れの後、佐藤町長の号令によって造成を開始した。戸倉中学校の生徒らによる長清水鳥囃子も披露され、着工を祝った。

3月定例議会③　9議員が質問

菅原　辰雄　氏

①高台移転後のまちづくりをどうするのか
②教育環境の課題と対策は。

町　長　①自然環境や景観保全のため、最低限のマナーなど一定のルールが必要として、まちづくり協議会など住民中心でルール作りに取り組んでいる。住民意見を尊重して作られるものであり、積極的に支援していく。

佐藤教育長　②最も注視しているのは心のケア。スクールカウンセラーに加え、臨床心理士を県外から派遣してもらっており、今後も必要と考えている。施設の復旧は、名足小学校は25年度中の復旧が可能となった。戸倉小学校は高台への移転・新築の作業を進めている。戸倉中学校は平成26年4月の学校再編（統合）で進めている。

鈴木　春光　氏

①ライフラインの復旧をどうする
②震災で生活が困窮している世帯もある。町税の減税を。

町　長　①道路網整備は、高台移転などで人や車の動線が大幅に変わることになるので、高台などの新たな土地利用展開に合せ、安全かつ利便性の高い整備を図っていく。現在、水道の復旧について復興計画を策定している。計画では水源間の連携や早期復旧可能な施設造りの検討など、災害リスクの低減を図りながら新たな水道施設を構築したいと考えている。併せて水源調査も実施している。

②賦課後、生活困窮などによって納税が困難な事例に関しては、被災の状況や生活実態を十分に調査した上で適正に対応している。

三浦　清人　氏

①新病院へ透析治療の医師確保を
②水道給水装置設置補助金を引き上げないか。

町　長　①目に見える形での成果は未だない。透析治療は町としては何とか実施したいと考えている。建設基本計画に課題として記載したのは、単なる課題としての認識ではなく、何とか解決したいとの意思表示だ。これまでの招へい策に加え、皆さんの協力をいただくとともにあらゆるツール、チャンネルを駆使していく。

②町独自の支援事業なので、交付金などの措置はない。財源はすべて自主財源。限られた予算の中で多くの被災者に支援を続けていくには、現行制度で助成していかなければならない。店舗併用住宅への助成は柔軟に対応する。